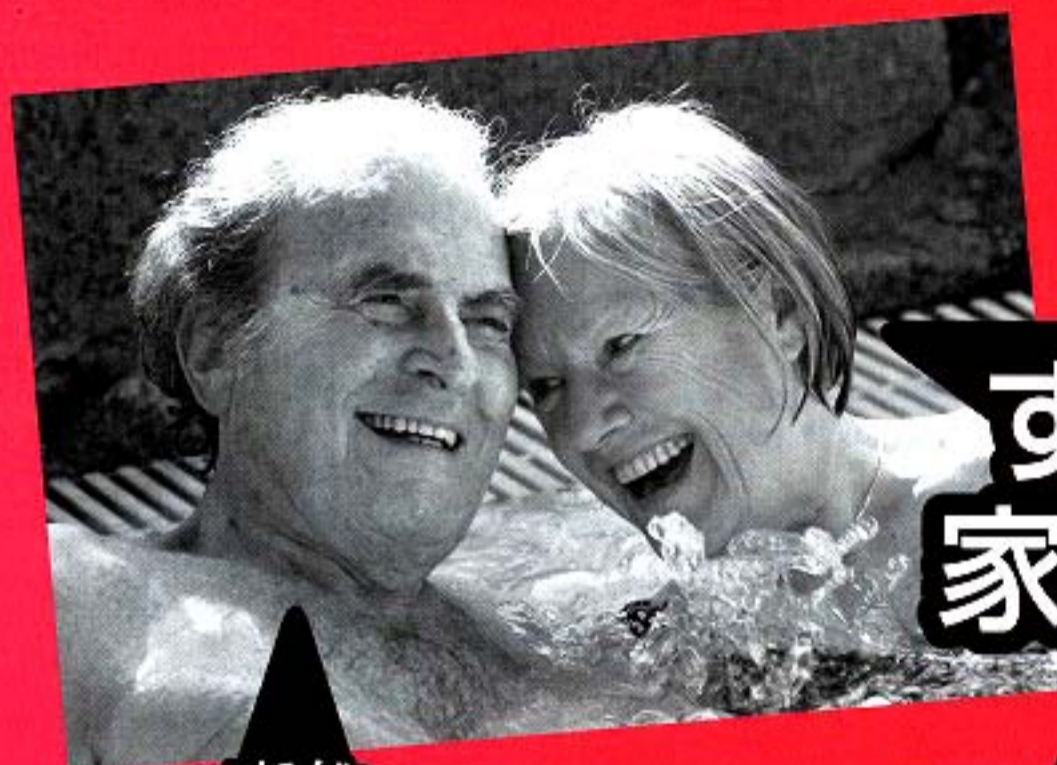


KOBE FILM FESTIVAL 2009

第14回 神戸100年映画祭



今年のテーマは

すばらしき 家族に乾杯!

多彩なゲスト

松坂慶子さん
大森一樹監督
大林宣彦監督



今年は

淀川長治 生誕100年

10/29(木) 会場:神戸新聞松方ホール

“君うるわしく—日本映画を語る” ゲスト:松坂慶子さん「大阪ハムレット」

10/30(金)・10/31(土) 会場:ピフレホール(新長田)

「瀬戸内少年野球団」「喜びも悲しみも幾歳月」「死線を越えて—賀川豊彦物語」
神戸フィルムオフィス・プレゼンツ 「走れ!イチロー」「風の歌を聴け」ゲスト:大森一樹監督 ほか

11/2(月)・3(火・祝) 会場:兵庫県民会館9Fホール

テーマ“すばらしき家族に乾杯!” 「人生に乾杯!」「扉をたたく人」「トゥーヤの結婚」

11/19(木)~21(土) 会場:神戸アートビレッジセンター2F・KAVCホール

“新開地 淀川長治メモリアル” 「モロッコ」「素晴らしき哉、人生!」「心の旅路」「若草物語」「転校生」ゲスト:大林宣彦監督

[お問い合わせ] NPO神戸100年映画祭事務局 TEL.078-954-8044



淀川長治生誕100年記念 新開地 淀川長治メモリアル

助成：(公) 亀井純子文化基金

11/19(木)・20(金)・21(土) 神戸アートビレッジセンター2F・KAVCホール

淀川長治さんを深く敬愛し、親交の深かった大林宣彦監督をゲストにお招きし、思い出などを語っていただきます。

講演「淀川長治さんを偲んで」

大林宣彦監督



大林宣彦(おおばやし のぶひこ) 1938年広島県尾道市生まれ。1960年頃からテレビCMの草創期に本格的に関わり始め、チャールズ・ブロンソンの「マンダム」、カトリーヌ・ドヌーヴの「ラックス化粧品」のほかソフィア・ローレンなどの外国人スターを多数起用して話題となる。1977年「HOUSE/ハウス」で劇場映画にも進出。代表作に「転校生」「時をかける少女」「さびしんぼう」の「尾道三部作」のほか「異人たちの夏」「北京的西瓜」「青春デンデケデケデケ」「ふたり」「なごり雪」など。最新作は重松清原作の「その日のまえに」。毎年開催される北海道芦別市での【星の降る里・芦別映画学校】、大分県での【ふるさと・風の映画学校】では「校長」も務めている。2004年、春の紫綬褒章受賞。

外人部隊の若い兵士と酒場の歌姫の恋物語

『モロッコ』Morocco

〈淀川長治解説付・3分〉

監督:ジョセフ・フォン・スタンバーグ/1930年/アメリカ/95分

出演:ゲイリー・クーバー、マレーネ・ディートリッヒ、アドルフ・マンジュー



外人部隊の名うてのプレイボーイが酒場の女にひと目ぼれで恋に落ちた。しかし、彼には出動命令が…。彼女は遠ざかっていく鼓笛隊の太鼓の音を追い、ハイヒールを脱ぎ捨てて素足で砂漠へと踏み出した。日本で最初の日本語字幕付きというのも、封切り当時の大きな話題だった。1931年キネマ旬報ベストテン第1位

アメリカでは今でも「幸せを求めて」クリスマスに観るという名画

『素晴らしき哉、人生!』

It's A Wonderful Life 〈淀川長治解説付・3分〉

監督:フランク・キャブラ/1946年/アメリカ/130分

出演:ジェームズ・スチュアート、ドナ・リード、ライオネル・バリモア



父親の死後、自分を犠牲にして他人のために尽くす若い銀行家ジョージ。ある日、大金を無くし、人生に絶望した彼のもとに「見習い天使」が派遣される。天使はジョージが存在しない世界を彼に見せ、人生の偉大さを教える。アメリカの良心ともいわれたスチュアートと、常に善意の人々を描き続けたキャブラ監督らしい心温まる人情劇。

男の子と女の子の体が入れ替わってしまった?!

『転校生』

監督:大林宣彦/1982年/日本/113分/出演:小林聡美、尾美としのり、

樹木希林、尖戸鋭、佐藤允、入江若葉、志穂美悦子

明るい中学生一夫のクラスに、一美が転校してきたことで始まる、世にも不思議なファンタジックな物語。情感あふれる美しい尾道の風景が観る者に遠い日を思い出させ、「さよなら、オレ」「さよなら、あたし」と2人が交わすラストシーンは胸にジーンときます。このあと作られた「時をかける少女」「さびしんぼう」と合わせて、大林監督の「尾道三部作」として親しまれている。1982年キネマ旬報ベストテン第3位



「哀愁」と並ぶ、マーヴィン・ルロイ監督のメロドラマの名作

『心の旅路』Random Harvest

監督:マーヴィン・ルロイ/1942年/アメリカ/127分

出演:ロナルド・コールマン、グリア・ガースン



第一次大戦で記憶喪失になった男が美しい踊り子と愛しい結婚するが、記憶が戻ったとたん彼女の存在を忘れ、故郷に帰って実業家として成功する。彼女は夫の行方を突き止めその秘書となり、献身的な愛で思い出を甦らせようとするが…。女性映画を得意とするルロイ監督ならではの抒情性が光るメロドラマの秀作。1947年キネマ旬報ベストテン第3位

家族の愛に育まれた4姉妹の成長を描く

『若草物語』Little Women

監督:マーヴィン・ルロイ/1949年/アメリカ/121分/出演:ジューン・アリスン、ジャネット・リー、エリザベス・テイラー、マーガレット・オブライエン



南北戦争の頃、出征中の父の留守を守り、母を助けて暮らす4姉妹。作家志望の次女が最初の本を出すまでの一家の生活が、ニューイングランドの四季を背景に情緒豊かに描かれる。美人なのに鼻の低いのを気にして洗濯ばさみで鼻をつまむ三女を演じたのは、子役を脱皮して女優としての活躍をはじめた当時17歳のエリザベス・テイラー。

神戸アートビレッジセンター 2F・KAVCホール

神戸市兵庫区新開地5丁目3-14 TEL.078-512-5500 神戸高速「新開地」駅 東出口(8番)より徒歩約5分

	11/19[木]	11/20[金]	11/21[土]
10:30	モロッコ	心の旅路	素晴らしき哉、人生!
13:30	大林宣彦監督 講演	若草物語	心の旅路
16:00	15:00 転校生	素晴らしき哉、人生!	モロッコ

10/29
(木)

神戸新聞松方ホール

“君うるわしく一日本映画を語る”

映画、テレビで大活躍の女優・松坂慶子さんをお迎えして、主演映画「大阪ハムレット」の上映とトークショーを行います。

【ゲスト】 **松坂慶子さん**

生きるべきか死ぬべきかって、生きとったらそれでええやん。

『大阪ハムレット』

監督:光石富士朗/2008年/日本/107分/出演:松坂慶子、岸部一徳、森田直幸、久野雅弘、本上まなみ、白川和子、間寛平、大塚智哉、加藤夏希
オトンが死んで、残されたオカンと三人の息子。そこへ叔父が現われて…。まるで“ハムレット”のような複雑な家庭環境の中でさまざまな悩みを抱える個性豊かな三兄弟。松坂慶子さんは、息子たちを大らかに包み込む陽気な肝玉玉母さんを豪快に演じ、なぜかそこに同居する“おっちゃん”と織りなすコミカルではのほのとしたやり取りは必見。



©2008「大阪ハムレット」製作委員会



神戸新聞松方ホール
神戸市中央区東川崎町1-5-7
TEL.078-362-7191
JR神戸駅より南へ徒歩10分



松坂慶子(まつざか けいこ)

東京生まれ。高校在学中に大坂にスカウトされ、スクリーンデビュー。1972年に松竹へ移籍。「事件」(78)で清純派女優から脱皮して注目された。「青春の門」(81)、「男はつらいよ 浪花の恋の寅次郎」(81)、「蒲田行進曲」(82)で、各年度の日本アカデミー賞主演女優賞、キネマ旬報主演女優賞、ブルーリボン主演女優賞などを受賞。「死の棘」(90)ではノーメイクで撮影に挑み、3度目の日本アカデミー賞主演女優賞。ほかに、「カンゾー先生」、「火垂るの墓」、最新作「大阪ハムレット」など。数々のテレビドラマにも出演し、NHK大河ドラマでは、「国盗り物語」(73)、「毛利元就」(97)、「義経」(05)などに出演、2008年の「篤姫」での篤姫付きの老女、幾島は今もなお記憶に新しい。

前売券 1回券 ¥1,000 (当日 ¥1,200) 3回券 ¥2,500

- 障害者・シニア(60歳以上) ¥1,000 (当日のみ)
- 小・中・高校生 ¥700 (当日のみ)
- NPO神戸100年映画祭 賛助会員 ¥800 (当日のみ)
- 10/31(土) 10:30「死線を越えて—賀川豊彦物語」に限り、コープ組合員証提示で ¥800

【各回入替制】 ※各回ごとにチケットが必要となります。

- ◆トークは半券もしくは前売券提示で無料になります。
 - ◆10/31(土) 神戸フィルムオフィス・プレゼンツは、無料です。
 - ◆満員の際は入場をお断りする場合がありますので、ご了承ください。
- ※やむを得ない事情により番組を変更する場合がございますので、ご了承ください。

【前売券発売所】

- 神戸100年映画祭事務局
- 松方ホールチケットオフィス
- 神戸文化ホール内プレイガイド
- 神戸国際会館プレイガイド(2F)
- 阪神梅田プレイガイド
- 海天堂書店2F
- 神戸アートビレッジセンター
- 兵庫県民会館1F受付

【主催】NPO神戸100年映画祭、神戸市、(財)神戸市民文化振興財団、(財)神戸新聞文化財団
 【後援】全国興行生活衛生同業組合連合会、兵庫県興行協会、神戸興行協会、(社)日本映画製作者連盟、(社)外国映画輸入配給協会、神戸新聞社、朝日新聞社、読売新聞大阪本社、毎日新聞神戸支局、産経新聞神戸総局、日本経済新聞社神戸支社、サンテレビジョン、ラジオ関西、NHK神戸放送局、賀川豊彦献身100年記念事業 神戸プロジェクト実行委員会
 【協力】岩波ホール、神戸映画サークル協議会、兵庫県映画センター、神戸フィルムオフィス

■お問い合わせ NPO神戸100年映画祭事務局 TEL.078-954-8044
 神戸市中央区東川崎町1-5-7 FAX.078-954-8066 E-mail:kffnpo@mwb.biglobe.ne.jp
<http://www5e.biglobe.ne.jp/~kff100/>

NPO会員募集中!

年会費 正会員 10,000円
 賛助会員 2,000円

★正会員はNPO神戸100年映画祭主催の上映会の映画を、無料で鑑賞していただけます。
 お申し込みは映画祭事務局、映画祭会場、電話、Fax、E-Mailで受け付けております。詳しくは、映画祭事務局までお問い合わせください。

10/30
(金)

ピフレホール

ご当地映画&“家族”をテーマにした日本の名画を上映!

作詞家・阿久悠の少年時代

『瀬戸内少年野球団』

監督:篠田正浩/1984年/日本/140分/出演:夏目雅子、山内圭哉、大森嘉之、郷ひろみ、渡辺謙、岩下志麻、加藤治子、伊丹十三、大滝秀治、ちあきなおみ
数々のヒット曲を世に送り、一昨年惜しくも他界した作詞家、阿久悠の自伝的小説の映画化。敗戦直後の淡路島の国民学校を舞台に、戦争の影を引きずった大人たちと、無邪気に野球に熱中する子どもたち。主演の夏目雅子は、この映画に出演した翌年、多くのファンに惜しまれながら27歳の若さでこの世を去った。キネマ旬報ベストテン第3位



海を守る灯台守一家の25年にわたる波乱に満ちた生活と愛を描く

『喜びも悲しみも幾歳月』

監督:木下恵介/1957年/日本/160分/出演:高峰秀子、佐田啓二、中村賀津雄、有沢正子、桂木洋子、田村高廣、井川邦子、三井弘次、田中晋二、夏川静江
海の安全を守り、北海道の石狩灯台から五島列島の女島灯台まで、日本各地の岬や灯台を転々と転勤しながら、戦争をはさむ二十数年を地道に生き抜いたひと組の夫婦。各地の美しい風景を背景に夫婦、同僚、子どもたちの悲喜こもごもの人生をスケッチする。若山影が歌った主題歌「灯台守の歌」は大ヒットを記録し、今も広く歌われている。キネマ旬報ベストテン第3位



10/31
(土)

ピフレホール

賀川豊彦献身100年記念事業 神戸プロジェクト

「死線を越えて—賀川豊彦物語—」のみ、コープ組合員証提示で

¥800になります。



賀川豊彦

1909年、21歳の賀川豊彦が活動を開始して100年を迎える今年、賀川豊彦とその仲間たちの運動や事業の原点である神戸に結集して、シンポジウムや写真展などが行われています。この神戸プロジェクトの一貫として、賀川豊彦の自伝的映画「死線を越えて—賀川豊彦物語—」を上映します。

挨拶:西 義人氏

(賀川豊彦献身100年記念事業 神戸プロジェクト実行委員会事務局顧問)

コープこうべの生みの親、賀川豊彦の生涯を描く

『死線を越えて—賀川豊彦物語—』

監督:山田典吾/1988年/日本/125分/出演:国広富之、黒木瞳、松原千明、長門裕之、小倉一郎、大村崑、橋本功、石倉三郎、綿引勝彦、牟田悌三、宮川一朗太 ナレーター:石坂浩二

明治末期の神戸。神学生の賀川豊彦は医者から寿命はあとわずかだと宣告され、命ある限り人のために尽くそうと葺合区の貧民窟に移り住む。印刷工場で働くキリスト教信者のハルと結婚した彼は、アメリカへ留学。帰国後は労働運動へ身を投じ、民衆のために戦い、労働組合、農民組合、生活協同組合の生みの親となる。



ピフレホール 神戸市長田区若松町4-2-15(ピフレSHIN-NAGATA3階) 市営地下鉄・JR「新長田」駅すぐ南側

10/30 [金]		10/31 [土]	
10:30	瀬戸内少年野球団	10:30	死線を越えて—賀川豊彦物語—
14:00	喜びも悲しみも幾歳月	13:30	神戸フィルムオフィス・プレゼンツ



10/31
(土)

13:30~19:00
ピフレホール

特別上映会&講演・トーク

映画監督、撮影監督、フィルムコミッショナー…、ひとくちに【映画】といっても、関わり方はいろいろです。神戸にゆかりのある多彩なゲストお迎えし、【映画】に関するお話を伺うとともに、【映画】というメディアを通して見た“神戸”の魅力を発信します。



大森一樹 (おおもり・かずき)
映画監督、大阪芸術大学 映像学科 教授

昭和27年3月3日生まれ。大阪市出身。
高校時代より自主映画製作を始め、京都府立医科大学在学中の'77年「オレンジロード急行」で第三回神戸賞を受賞。以降、「ヒポクラテスたち」「恋する女たち」「ゴジラvsキングギドラ」「シュート!」「わが心の銀河鉄道〜宮沢賢治物語」「走れ!イチロー」「T.R.Y.」「悲しき天使」等多くの作品を製作し、数々の映画賞を受賞。
著書に「震災ファミリー」「あなたの人生案内」など。



神戸フィルムオフィス支援作品第1作目

13:30 『走れ!イチロー』上映

15:25 大森一樹監督講演「私と映画と神戸」

16:15 トークショー「レンズの向こうの神戸」

17:10 『風の歌を聴け』上映

トークショー「レンズの向こうの神戸」

私たちが暮らしているまち・神戸は、スクリーン上で見ると、まるで違うまちのように見えるときがあります。映画カメラマンという職業の方にとって、レンズ越しに見た神戸は、どのように映っているのでしょうか? これまで約30本の劇映画をサポートしてきた神戸フィルムオフィスですが、その中でも、神戸に縁のあるお二人の撮影監督をお招きし、撮影監督たちから見た神戸の魅力を探ります。

阪本善尚氏 (1942年奈良県生まれ)

代表作品は「転校生」、「時をかける少女」など“尾道三部作”のほか、近年では「突入せよ!」「あさま山荘事件」、「男たちの大和/YAMATO」、「墨攻」など。
神戸での撮影作品は「She's Rain」、「あずみ2 Death or Love」。

柳島克己氏 (1950年 岐阜県生まれ)

近年の代表作品は「ディア・ドクター」、「出口のない海」のほか、「ソナチネ」、「Doots」、「アキレスと亀」など北野武作品も数多く手がける。
神戸での撮影作品は「GO」、「走れ!イチロー」、「神様のパズル」。

コーディネーター:田中まこ (神戸フィルムオフィス代表)

神戸を舞台に、3人の“イチロー”たちの奮闘を描いたハートウォーミング・コメディ。

『走れ!イチロー』

監督:大森一樹/2001年/日本/111分/東映/出演:中村雅俊、浅野ゆう子、石原良純、木村佳乃、松田龍平、柴崎コウ、水川あさみ

2000年4月。突然いなくなった妻・鈴子を追って、娘のこよみと共に神戸へ向かった石川市郎。神戸の母校でソフトボール部のコーチとして生き生きとしている妻の姿を見た市郎は…。グリーンスタジアム神戸でアルバイトをしている“一浪”中の望月竜介。恋する彼女との成就是、イチロー選手にかかっていた…。熱烈なイチロー選手のファンで作家の奥手川伊知郎の前に、突如、アーティストの陸美が現れた。彼女に振り回されっぱなしの伊知郎だったが…。

村上春樹のデビュー作を映画化

『風の歌を聴け』

監督:大森一樹/1981年/日本/100分/出演:小林薫、真行寺君枝、坂田明、巻上公一、室井滋、古尾谷雅人、黒木和雄

大学生の僕は夏休みに帰省した生まれ故郷の神戸の街の馴染みのバーで旧友と再会。ある日、飲みすぎて意識をなくしてしまった左手の小指のない女の子と知り合う。公開当時、新しいタイプの都会派青春映画として話題になった。原作は最新作「1Q84」で話題沸騰の村上春樹が「群像」新人文学賞を受賞したデビュー作。

11/2
(月)11/3
(火・祝)

兵庫県民会館 9F県民ホール

“すばらしき家族に乾杯!”をテーマに、三作品を上映!



©M&M Films Ltd.

年金にはもう頼れない? 老夫婦は幸せになるために立ち上がった!

『人生に乾杯!』KONYEC

監督:ガール・ロホニ/2007年/ハンガリー/107分/出演:エミル・ケレシュ、テリ・フェルディ、ユディト・シェル、ゾルターン・シュミエド

運命的な出会いを機に結婚した2人も今や81歳と70歳。今では社会も時代も変わり、年金だけでは暮らせない。高齢者に冷たい世の中に怒りを覚えた老夫婦が、人生の大切な宝物を取り戻すために起こした出来事とは? 年齢などものともせず、“自分の正義”のために一步を踏み出した2人の勇気ある行動に乾杯!



©2007 Visitor Holdings, LLC All Rights Reserved

新しい人生の扉を開くのは、予期せぬ訪問者

『扉をたたく人』The Visitor

監督:トム・マッカーシー/2007年/アメリカ/105分/出演:リチャード・ジェンキンス、ヒアム・アップバス
愛する妻に先立たれ、孤独に暮らす大学教授。ある日、彼が久しぶりに別宅の扉を開けると、そこには見知らぬ若い移民のカップルが住んでいた。彼は年齢も職業も文化も異なる人たちとの出会いによって人間らしさを取り戻し、ふたたび生きる意味を見出す。それは彼の心の扉をたたく他者からの思いやりであり、たたかれた扉を開くほんの少しの勇気だった。

内モンゴルの荒野で生きるトゥヤーの再婚の条件とは、離婚した夫も一緒に暮らすことだった!

『トゥヤーの結婚』Tuya's Marriage

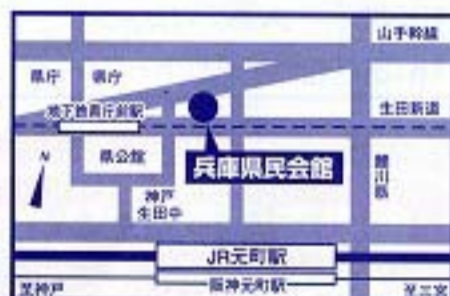
監督:ワン・チュアンアン/2006年/中国/96分/出演:ユー・ナン

中国内モンゴルの草原に住むトゥヤーの一家。井戸を掘っていた夫は、ダイナマイト事故により下半身不随になる。トゥヤーは二人の幼い子供を抱えながら、家族を養うための重荷を背負い始める…。砂漠化する草原で、過酷な労働が、美しいトゥヤーを蝕んでいく。家族への愛、生きるために彼女が選択した、ひとつの決断とは…。監督と脚本を共同執筆したのは、「さらば、わが愛/霸王別姫」、「生きる」の名脚本家ルー・ウェイ。

兵庫県民会館 9F県民ホール

神戸市中央区下山手通4丁目16-3
TEL.078-321-2131(代)
JR・阪神「元町」駅より徒歩約7分
地下鉄「県庁前」駅 東1・2出入口下車すぐ

	11/2[月]	11/3[火・祝]
10:30	人生に乾杯!	扉をたたく人
13:30	扉をたたく人	トゥヤーの結婚
15:30	トゥヤーの結婚	人生に乾杯!



関連イベント

神戸映画サークル協議会「市民映画劇場10月例会」

『マルタのやさしい刺繍』

(原題: Die Herbstzeitlosen)



- 10月23日(金)①11:00②13:30③16:00④19:00
24日(土)①11:00②13:30③16:00④18:30(最終の時間に注意)
- 神戸市産業振興センター3Fホール(ハーバーランド・プロメナ神戸東隣)
- 前売券1300円
(当日一般1500円/シニア・障がい者・大学生以下1100円)
- お問い合わせ:神戸映画サークル協議会 TEL.078-371-8550

監督:ベティナ・オベルリ(女性) 主演:シュテファニー・グラウザー
2006年/スイス/89分

チーズで有名な美しいスイス・エメンタール地方の元気な女性たちを描いた映画。80歳のマルタの若かり頃の夢は、「ランジェリー・ショップをオープンさせること」。叶えられなかった夢、忘れかけていた想い。夢への扉を開く勇気があれば、人生の輝きは何度でもやってくる!

例会学習会「スイスの理想と現実」

お話:増本浩子氏(神戸大学文学部准教授)

◇日時:10月7日(水)19:00~20:30

◇場所:ゲストハウスギャラリー ◇参加費:500円